



山形県 出羽桜酒造(株) 『日本酒を世界25か国へ』

【主な品目】

日本酒

【主な輸出先国・地域】

米国、香港、豪州、EU、東南アジア等

【輸出取組の概要】

- ◆ 吟醸酒の素晴らしさを海外に伝えるため、1999年より輸出をスタート。
- ◆ 海外のレストランを中心に、日本酒マーケットの販路拡大を展開。
- ◆ 世界25か国、50都市へ輸出。

【輸出実績】(平成11年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(%)	出荷時期
平成28年度	12,400	93,300	通年
平成27年度	11,600	85,400	
平成26年度	10,600	84,300	

【田植えの実体験】

- ・米から日本酒が出来上がることを理解してもらうために、米造りから体験して頂く。
- ・ワインと同様に、原料の米そのものに焦点を当てていく。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 低温輸出物流の確保。
- ・ 多様な言語への対応。
- ・ 現地で正しい日本酒の情報を伝える人材。



田植え体験

【生じた課題への対応】

- ・ 複数の蔵元での対応や、エア便の活用。
- ・ 様々な方達との人間関係を活用し、翻訳していただく。
- ・ 蔵見学して頂き、出羽桜のファン、代弁者となっていただく。



【対応の結果】

- ・ 低温流通で日本の味をそのまま伝えることが大前提。
- ・ 世界に日本酒の理解が広がっている。
- ・ 日本酒のファン、理解者を増やしていく事が非常に重要。



海外のレストラン従業員へのきき酒指導

【今後の課題・展望】

- ・ 様々な国々から来る、新規取引依頼へのタイムリーな対応。
- ・ 海外の飲食店等で日本酒の世界を正しく説明できる人材(酒ソムリエ等)の育成。
- ・ 現地の業者と直接取引する際の与信管理。

【活用した支援・施策】 多言語翻訳補助事業

【ウェブサイト】 <http://www.dewazakura.co.jp/>

【連絡先】 営業部: 鴨田直希、TEL: 023-653-5121